

医学統計学研究センター
平成 30 年度第 6 回セミナー

ロジスティック回帰分析の基礎
－SAS を利用した統計解析の実際－

Introduction to Logistic Regression Analysis with Practical using SAS

- 講 師： 丹後俊郎（医学統計学研究センター）
山岡和枝（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）
- 日 時： 平成 31 年 3 月 8 日（金） PM1：15 ～ PM5：00
- 場 所： 汐留イタリア街東京茶業会館 8 F 東茶協ホール
- 参考書： 丹後俊郎・山岡和枝・高木晴良著「新版 ロジスティック回帰分析」
朝倉書店（2013）
※ 当日、書籍購入を希望される方は事前登録が必要です。（5,100 円税込）
- 対 象： 臨床医学、公衆衛生学、疫学などの研究に従事している大学院生、研究者、実務家、
臨床開発に従事している製薬企業の統計担当者、その他、本セミナーに興味のある者
- 参加費： 参加申し込み区分（税込）：
A：アカデミック 1 万 2 千円（大学・病院・大学に所属する研究機関所属の方）
B：ノン・アカデミック 2 万 4 千円

最小催行人数：10 名 開講 7 日前迄に最小催行人数に達しない場合、中止となる場合がございます
あしからずご了承下さいませ。不催行になった場合、メールにてご連絡致します

セミナーの内容：

ロジスティック回帰分析は SAS、SPSS、STATA、R などの統計ソフトの普及もあり、医学を始めさまざまな分野で利用されるようになってきました。しかし一方で、簡単に使えるということでブラックボックス的に解を求め誤った解釈につながるような使われ方がなされることもあるようです。特に最近では相関構造をもつデータ、欠測データを持つ不完全データの解析などにもロジスティック回帰分析が使われており、より複雑な理論への理解も求められるようになりました。

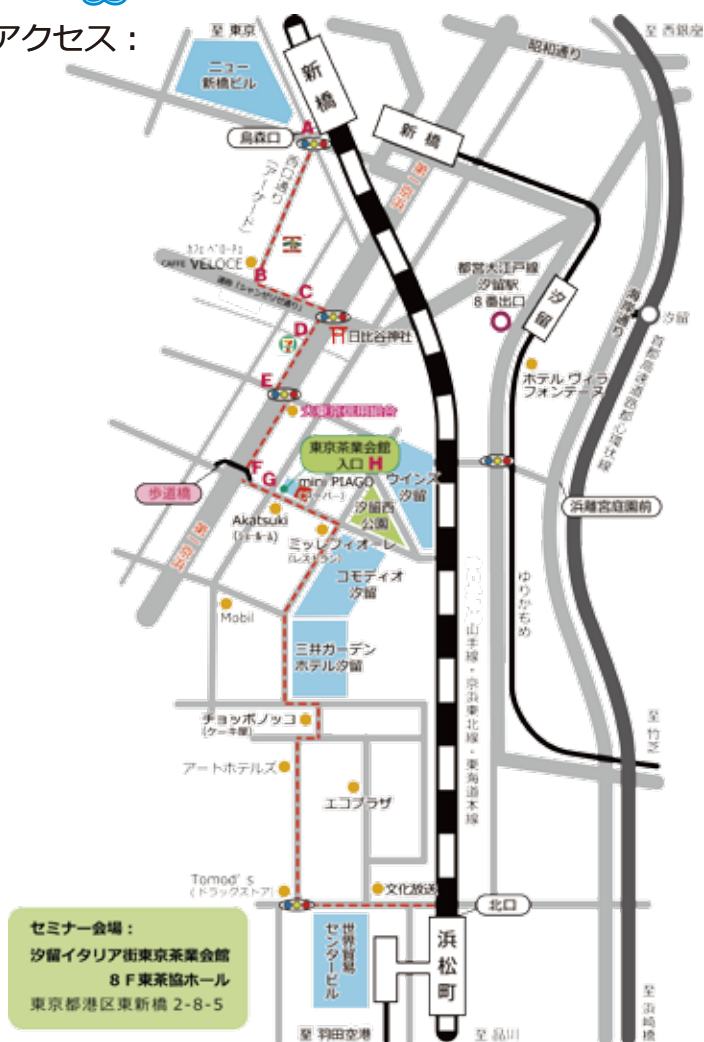
本セミナーでは、ロジスティック回帰分析の基礎として、比較的初心者を対象として、主に以下の内容について解説し、基礎と応用への理解が深まるよう図るとともに、解析結果から目的とする指標を求め、報告できるようにすることを目指します。

- ・ロジスティック回帰分析の歴史－フラミンガムコホート研究
- ・リスクの大きさとオッズ比
- ・疫学研究の種類とロジスティック回帰分析で推定されるオッズ比の意味
- ・相関構造をもつデータや不完全データのロジスティック回帰分析の概要
- ・SAS を利用したロジスティック回帰分析の実際
（変数の取り扱い、変数選択、母数モデル、混合効果モデル、他）
- ・解析結果の評価と論文での表のまとめ方

会場で実習も試みたい受講者は、SAS がインストールされている PC（電源はありませんので、バッテリーを十分に）を持参してください。なお、R での実習は行いませんが、R のプログラム、結果、解釈などについても、簡単に説明します。

エレガントな汐留イタリア街で行われる
最先端のセミナーに参加しませんか？
Coffee Break では素敵な音楽と Coffee & Sweets が楽しめます

アクセス：



**東京茶業会館 8 F
東茶協ホール**
港区東新橋 2-8-5
(汐留イタリア街)

JR「浜松町」駅「新橋」駅
地下鉄大江戸線・ゆりかもめ
「汐留」駅、地下鉄三田線
「御成門」駅より 徒歩7分
地下鉄浅草線・大江戸線
「大門」駅より 徒歩8分

<http://medstat.jp/info/mapseminar2017jan.pdf> に新橋から会場までの説明案内がございます。詳細はそちらをご覧ください。

セミナー参加申込方法：

参加希望の方は、配布資料の準備もございますので、**2/28** (Thu) までに、できる限り、事前登録をお願い致します。

参加申し込みは  e-mail にて承ります。参加費は当日お支払い下さい。

※領収書と参加証明書お渡し致します

宛先：secretary@medstat.jp

件名：第6回セミナー参加申込

本文：1. ご氏名 2. ご所属 3. 参加申し込み区分
4. 参考書籍購入希望の有無

※セミナーのお申し込みをいただいてからお申込者様のご都合でキャンセルされる場合、キャンセル料を申し受けますので、ご注意ください。セミナー開催の

8日前（開催当日を含まず）まで： 不要
7日前 - 前々日のキャンセル： 参加費の半分
前日 - 当日のキャンセル： 全額